

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	外国人医師等研修受入推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	総務課		課長:土生 栄二	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後、日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のため、具体策として、新たに外国人医師等医療従事者が国内等において医療技術等を習得できる研修を実施する機会を提供する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外国人医師等の研修受入を行う医療機関へ日本製の医療機器を用いる研修を行った場合、人件費、通訳費用などの経費を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					74
		繰越し等					
		計					74
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	研修実施病院数	成果実績	病院				
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研修実施病院数	活動実績(当初見込み)	病院				
		算出根拠					
単当たりコスト							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	医療施設運営費等補助金	-	74	「新しい日本のための優先課題推進枠」74			
計	-	74					

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のための当事業は「日本再興戦略」においても官民一体となって進めていく事業であり国費の投入の必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のため官民一体となって進めていく事業であり、民間等のみ委ねることができない。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	日本の医療技術や医療サービスの国際展開の推進のための当事業は「日本再興戦略」の推進のため優先度が高い。
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
	-	-	-
	-	-	-
点検 結果	新規事業として、平成26年度概算要求		
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
-	外国人医師等研修受入推進事業については、外国人医師等の研修受入を行う医療機関へ日本製の医療機器を用いる研修を行った場合、人件費、通訳費用などの経費を支援するものであり、必要性の観点から優先度の高い事業である。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
-	-		

備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年

-

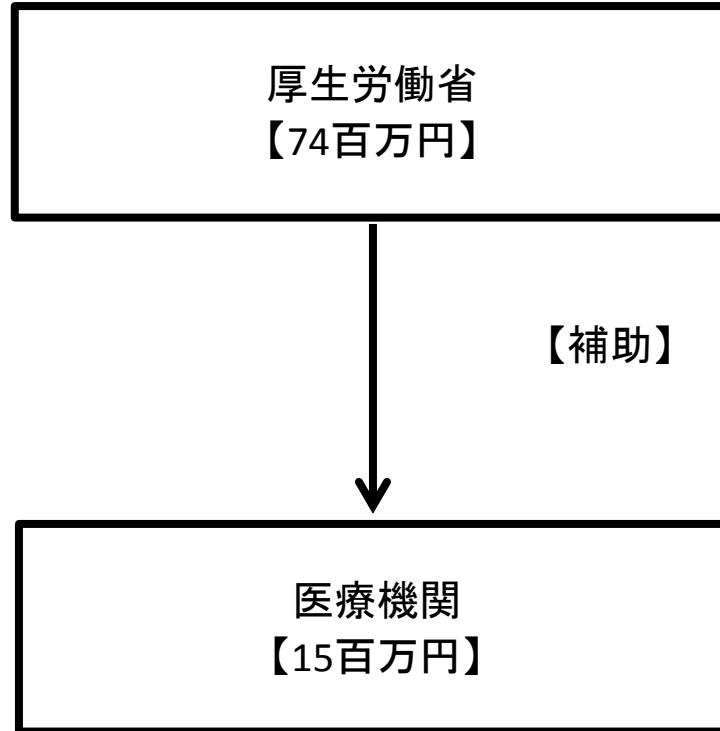
平成23年

-

平成24年

-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					